

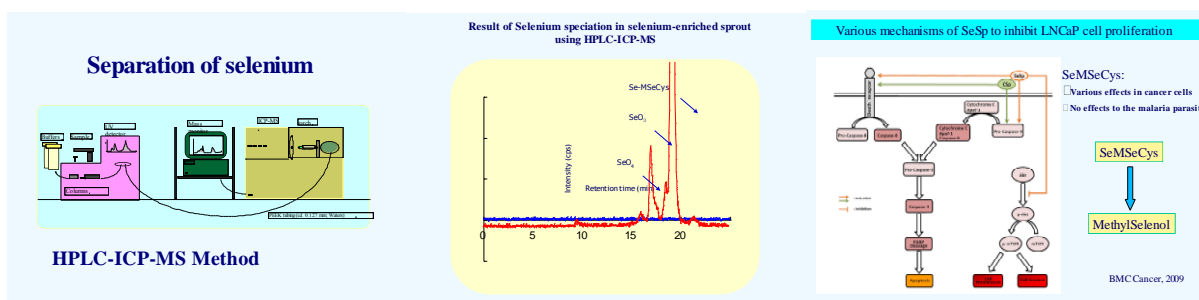
# 公衆衛生学分野

公衆衛生学分野は、人々の健康を支える要因、健康を阻害する要因を明らかにし、社会環境の中で健康を支える要因を増やし、健康を阻害する要因を制限していくことによって、健康に暮らせる社会環境の構築を目指しています。

## <研究内容紹介>

### 微量元素セレンの分別分析と健康影響に関する研究

セレンは必須微量元素で、生体内ではグルタチオンペルオキシダーゼなどの抗酸化系酵素の活性中心を担っており、様々な健康影響が明らかにされつつあります。当研究室では、液体クロマトグラフィ（HPLC）とICP質量分析装置を組み合わせたHPLC-ICP-MS分析法を用いて生体内セレンの化学形を明らかにしながら、化学形ごとの健康影響を研究しています。



HPLC-ICP-MS法

セレンの分別分析

セレンによるアポトーシス経路

## <現在進行中の課題>

- 1) セレン及び微量元素関係  
メタボリックシンドロームの進展におけるセレンとアディポサイトカインとの関連  
セレン補充による炎症作用抑制効果（放射線療法、手術療法の副作用低減）  
亜鉛とプロバイオティクス複合補充の健康影響およびセレン代謝への効果  
生理的疲労における亜鉛とメタロチオネイン
- 2) うつスクリーニング調査法（こころのチェックシート）の開発  
片品村スタディ  
産業保健分野におけるうつ対策
- 3) 国際保健 医療保険制度の比較  
日本とインドネシアにおける医療保険制度の比較  
インドネシア国内における医療体制の比較と地域住民のQOL
- 4) 環境・公害問題に関する研究  
イタイイタイ病および慢性カドミウム中毒に関する研究  
胎児期メチル水銀の神経系への影響とセレンの保護的作用に関する研究

## <学生・大学院生の在籍状況>

大学院生博士課程 3名、MD-PhD学生 5名

2013年10月- パジャジャラン大学公衆衛生学修士リンケージプログラム学生3名

## <教室セミナー>（いずれも17:30-です。どうぞ、気軽に参加してみてください。）

毎週木曜日に教室セミナーを開催しています（毎月第1木曜日は大講座合同セミナー）

水曜日:社会医学セミナー ”Public Health Ethics” (Cambridge University Press 2011)

連絡先： 教授: 小山 洋

e-mail: hkoyama@ gunma-u.ac.jp

Tel: 027-220-8010 (小山), 8013 (吉澤), 8011(亀尾)